

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 6 月 8 日(2023.6.8)

【公開番号】特開 2022-55538(P2022-55538A)

【公開日】令和 4 年 4 月 8 日(2022.4.8)

【年通号数】公開公報(特許)2022-063

【出願番号】特願 2020-163010(P2020-163010)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 31 日(2023.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球の入球が可能な始動口と、

前記始動口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定する当否判定を実行する当否判定手段と、

前記当否判定の結果を示すための図柄が変動表示される表示装置と、

前記図柄を前記表示装置に変動表示させる表示制御手段と、

前記当否判定の結果に応じて前記図柄の停止態様を決定する図柄決定手段と、

図柄の変動表示過程が定められた複数種類の変動パターンからいずれかを抽選で選択するとともに、その選択において参照する選択基準として前記変動パターンと抽選値との対応関係が定められた変動パターン選択基準を複数保持する変動パターン決定手段と、

30

前記当否判定が前記特別遊技への移行が可能であることを示す結果となり、所定の停止態様にて前記図柄の変動表示が停止したときに前記特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

前記当否判定の結果に応じて演出内容が表示される演出表示装置と、

前記演出表示装置へ表示させる演出内容を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段による決定に基づく演出内容を前記演出表示装置へ表示させる演出制御手段と、を備え、

所定の表示要素の表示個数を示す第 1 の演出要素と、所定の表示要素の種類を示す第 2 の演出要素と、所定の表示要素の表示タイミングを示す第 3 の演出要素と、の組合せが定められた複数種類の特定演出パターンのいずれかを演出内容として選択可能であり、

40

前記第 1 の演出要素と前記第 2 の演出要素との組合せにおいて、相対的に当り期待度の低い種類を示す前記第 2 の演出要素が含まれる組合せの場合であっても、相対的に当り期待度の高い表示個数を示す前記第 1 の演出要素が含まれる組合せの場合は、相対的に当り期待度の高い種類を示す前記第 2 の演出要素が含まれる他の組合せより総合的な当り期待度が高い場合があり、

前記第 1 の演出要素と前記第 2 の演出要素との組合せにおいて、相対的に当り期待度の低い種類を示す前記第 1 の演出要素が含まれる組合せの場合であっても、相対的に当り期待度の高い表示個数を示す前記第 2 の演出要素が含まれる組合せの場合は、相対的に当り期待度の高い種類を示す前記第 1 の演出要素が含まれる他の組合せより総合的な当り期待

50

度が高い場合があり、

前記複数種類の特定演出パターンのうち、前記第 1 の演出要素と前記第 2 の演出要素との組合せにおいて、前記第 1 の演出要素が示す表示要素の表示個数と前記第 2 の演出要素が示す表示要素の種類が共通する第 1 の特定演出パターンと第 2 の特定演出パターンとの間で、その組合せが示す当り期待度も共通する場合がある一方、前記第 1 の演出要素が示す表示要素の表示個数と前記第 2 の演出要素が示す表示要素の種類が共通する第 3 の特定演出パターンと第 4 の特定演出パターンとの間で、その組合せが示す当り期待度は異なる場合があることを特徴とする弾球遊技機。

10

20

30

40

50